



「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」関連トピックスを
月イチでお届けするニュースレター

新潟大学J-PEAKS NOW Vol.9

2026
July
7

REPORT

7/10(金) 東京農工大学×新潟大学 共同シンポジウムを開催しました

2026年7月10日（金）にJ-PEAKS採択大学連携シンポジウム「日本のコメは世界の勝ち筋になれるか。」を開催しました。（会場：東京農工大学府中キャンパス）

シンポジウムでは、「2大学が挑む、国境と常識を超えた次世代稲作」をテーマに、日本の稲作が持つ力を、地域から世界へ、そして世界から再び地域へと循環させて日本の稲作を国際市場へ展開する可能性や、気候変動への対応と両立する持続可能な農業モデルについて議論を展開し、約100名の参加がありました。

東京農工大学の中村暢文学長による開会挨拶、新潟大学の染矢俊幸学長によるビデオメッセージに続き、両大学の研究者による事例発表が行われました。

東京農工大学の安達俊輔教授からはハワイでの陸稲栽培等について、田中一生客員教授からは北海道における「ななつぼし」や「ゆめぴりか」などの育種実績について、新潟大学の山崎将紀教授（iRICEセンター長）からは高温登熟の研究と陸稲栽培について、藤巻義博特任教授（iRICE戦略室長）からは海外での稲作やサプライチェーン構築、民間企業との協働について、宮本託志准教授からは耐気候変動、環境配慮産物米などを用いたプロジェクトについて講演が行われました。



続いて、ファシリテーターの東京農工大学の山中晃徳副学長（J-PEAKS・連携強化担当）から、パネルディスカッションに登壇する生産者の株式会社福田農場F4の福田稔代表、いなかがらしう考古今集の福井朝登代表、針江のきんきふあーむの石津大輔氏の地域での取組みが紹介され[DN1.1]、次に、藤巻義博特任教授から、株式会社Moon Lagoonの高木貴哉代表の地域での取組みが紹介された後に、両大学の講演者を交えてパネルディスカッションを実施しました。パネルディスカッションでは、「地域の違いが生む米づくりの多様性」や「大学は米づくりの価値をどのように可視化し伝えられるのか」等幾つかのトピックを設け、各トピックについて活発な意見交換が行われ、予定の時間を超過するほどの盛り上がりとなりました。

最後に、東京農工大学の太川泰一郎理事（グローバル戦略・内部統制担当）より閉会の挨拶があり、盛況のうちに終了いたしました。初回となる今回の合同シンポジウムは東京農工大学での開催となりましたが、今後は両大学の連携をさらに深め、次回の新潟での開催を含めた継続的な取組へと発展させてまいります。

FEATURE

本学とオイシックスが共同設置する「フードテック・イノベーションプログラム（仮称）」がNEDOの支援事業に採択されました！

新潟大学とオイシックス株式会社が共同で設置を準備している大学院の新学位プログラム「フードテック・イノベーションプログラム（仮称）」が、このたびNEDOの「科学とビジネスの近接化時代の大規模産学連携拠点形成事業」に採択されました。2028年4月の設置を予定する本プログラムは、食料安全保障や健康課題、気候変動など食を取り巻く社会課題の解決と産業イノベーションを担う高度人材の育成を目指すもので、経済産業省が推進する「契約学科制度」の先行事例として位置づけられています。

本取組は、2026年1月に設置されたフード&ヘルスイノベーション共創センター（FHI）が推進する「食と健康」分野の研究・教育・社会共創とも密接に連動するものです。FHIは、新潟大学J-PEAKS事業における学長直轄特区として、国際水準の研究力強化と地域産業創生を支える中核組織です。今回の採択は、産学共創による人材育成と社会実装を加速し、J-PEAKSが掲げる大学の強みや特色に基づく社会インパクトの創出に向けた重要な一歩となります。



J-PEAKS WEEK 2026 ～すべての「ライフ」が駆動する、新しい知のエコシステム～

J-PEAKS WEEKは、新潟大学のJ-PEAKS構想の進展を発信するフラッグシップイベントです。J-PEAKSを通じて進展している取組を多面的に可視化し、学内外の関係者の対話を通じて、連携と共創を促進します。

日程	イベント
9/7(月)	①大学経営人材サミット @東京コンベンションホール
9/8(火)	このほか、新センターや研究環境の向上に向けた取組の紹介も予定しています。
9/9(水)	
9/10(木)	
9/11(金)	
9/12(土)	
9/13(日)	
9/14(月)	
9/15(火)	(FLAGsシンポジウム@ときめいと)
9/16(水)	・ [16:00-18:00] ELSIセンター国際シンポジウム@有壬記念館
9/17(木)	・ [10:00-12:30] ELSIセンター研究支援シンポジウム@有壬記念館 ・ [午後] BDA/ADIC x 中部大学@アートホテル新潟
9/18(金)	・ [午前] iRICEさくらサイエンス報告会@五十嵐キャンパス農学部 ・ [15時半～] ②J-PEAKS先導研究フォーラム@五十嵐キャンパス共創ラウンジ

【9/7(月)開催】大学経営人材サミット2026
－産学官のイノベーションエコシステムの結節点の強化へ－

「新潟大学J-PEAKS WEEK」の幕開けとして、全国の先進的な大学の学長・執行部等が一堂に会する「大学経営人材サミット2026」を開催いたします。

本サミットは、大学改革の推進に不可欠な「大学経営人材」に焦点を当て、大学間で経営力強化に関する知見を共有するとともに、大学が社会や産業界との共創を進める経営体として発展していく姿を広く発信することを目的としています。

当日は、大学経営に関する先進事例の共有や、大学経営の高度化に向けた新たな方策について議論を行います。また、経済界や地域社会との組織的な共創の可能性についても発信し、これからの大学経営のあり方を展望します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【プログラム】

- 第1部(全体会議)：国の関連政策紹介、海外事例紹介(BCG)、国内大学の先進事例講演(ショートトーク)等
- 第2部：ポスターセッション、意見交換会

日時 令和8年9月7日(月) 14:00～18:20

会場 東京コンベンションホール(東京都中央区京橋3-1-1)

詳細、事前申込はこちら

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/news/1190434/>

申込期限 令和8年8月24日(月)

※予定は変更となる場合があります。詳細は、本学J-PEAKSウェブサイトでお知らせいたします。

● J-PEAKSプチコラムー現場からのひとこと便り ●

「日本のコメは世界の勝ち筋になれるのか」—その答えはYes。今回、生産者の皆さんが地域に最高の米を届けようと取り組む姿勢に感銘を受けました。それは地域農業の持続的な発展を支える大きな力です。一方で、その強みはコメ単体だけではなく、おいしい米を生み出す技術やノウハウ、経験、品質管理にもあります。これらをデータ化・パッケージ化して海外へ技術移転し、その技術やノウハウを知的財産として活用して収益を地域へ還元する循環モデル—これは産業界では広く実践されているビジネスモデルです。日本のコメも輸出するだけでなく、「知」を輸出する産業へ発展できるはずです。研究成果と現場の知恵を結び付け、その価値を世界へ届けることは、J-PEAKSが目指す社会実装の一つの姿ではないでしょうか。【YF】

● お問合せ・ウェブサイト ●

○お問合せ：新潟大学 研究企画推進部 研究推進課

TEL: 025-262-7174

MAIL: kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp

○新潟大学J-PEAKS ウェブサイト

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/>

本学J-PEAKS関連のイベント情報や活動状況をご確認いただけます。



○新潟大学J-PEAKS 学内者向けページ

<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/2PLWiy>

全学への迅速な情報共有および事業運営の透明性を図るため、予算配分を含むグランドデザインや会議資料等を、常時学内限定公開しています。よりも詳しい情報をご覧になりたい場合は、こちらにアクセス願います。

